一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇一九年二月十三日発行（ＳＳＫＰ通巻第七〇九〇号）

ＳＳＫＰ
泉会

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます

いずみ

No. 192
2019年3月

社会福祉法人 泉会

泉会事務局　〒157-0076　世田谷区岡本2丁目33番23号　TEL03(5429)6721(代)　FAX03(5429)6722
info@izumikai.jp　http://izumikai.jp/

本年度の聖句

わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。
（『エレミヤ書』29章11節）

年納会にてゲストと利用者と理事長が即興劇！（岡本福祉作業ホーム）

左手によるピアノ演奏

理事長　佐分利　正彦

先日、左手だけで演奏するピアニストたちのコンクールに関するテレビのドキュメント番組を見ました。そのコンクールは日本で開催されており、世界で初めてということでした。このコンクールを企画した方は、ご自身が左手のピアニストとして活躍されている方です。

番組は数人の若いピアニストたちに焦点を当てたものでした。一度はソロピアニストとしてデビューした方や、音楽学校で勉強中で、いずれは独り立ちすることを目指していたプロの卵です。しかし、何らかの理由で右手に不具合が発生したために、一度は演奏家として立つ事を諦めたのですが、左手のためのピアノ曲に出会って、再出発しつつあることが紹介されました。一度は諦めたピアノの演奏を続けることができる喜びが伝わってきました。

話は少し変わりますが、私は泉会の各事業所で行われるクリスマス会や新年会に招かれて出席します。それらの会の出し物は各施設でそれぞれ工夫されているのですが、利用者による合唱が必ず含まれています。歌の指導には職員だけでなく、ボランティアの方たちの協力がとても大きいことを知る機会となります。最近では、事業所ごとに歌詞を考え、それにメロディーを付けてオリジナルの歌を作り、利用者と職員が一体となった合唱を聴かせて頂くようになりました。多くの利用者の誇らしそうな様子が印象的です。

私の所属する教会に、数年前に亡くなりましたが、脳性麻痺の信徒がおられました。生後間もなく高熱に冒されたため、右半身が特に不自由で、しかも声が出ない方でした。その方が、しかし、礼拝のなかで会衆が讃美歌を歌う時には、全身の動きで讃美歌を歌っていたことを思い出すのです。

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇一九年二月十三日発行（SSKP通巻第七〇九〇号）

泉会の給食

世田谷エリア

泉の家

笑顔も弾むイベント食

泉の家では、週1回の選択食、月1回の季節折々の旬の食材を使った行事食などを提供しています。

また年2回参加型イベントとしてパンセレクトと、今年初のラーメン博も行っています。

ラーメン博

パンセレクトは15種類のパンから5種類、デザートは10種類から3種類をその場で選んでいただきました。ラーメン博はしょうゆ、みそ、鶏白湯の3種類から2種類を選んでいただきました。何を選ぶか悩む方や、もっと食べたかったなど反応も様々で、会話も笑顔も倍増します。その他今年度は、給食委託業者グリーンハウスから提案いただいた郷土料理を取り入れた各地の駅弁を不定期で提供しました。毎年行う嗜好調査でも、「昼食を楽しみにしている」、「イベント食を増やして欲しい」等の意見も出ていて、期待度も上々です。

パンを選んでいただきました

マンネリ化せずに趣向を凝らし、皆様に喜んでいただける給食の提供を行って参りたいと思います。

（栄養士　山根　久美）

コイノニアかみきた

彩り豊かなコイノニアの弁当

コイノニアかみきたは給食ではなく、弁当業者に毎日配達してもらっています。弁当の味は、利用者、職員共に「とても美味しい」と好評です。また、給茶機を設置し、食事の際、3種類あるお茶（煎茶、麦茶、ほうじ茶）の中から飲みたいものを自分で選べるようになっています。

まだ開所して間もないということもあり、現在は就労継続B型、生活介護の利用者全員が同じ部屋で、和やかな雰囲気の中、食事をしています。

片付けは利用者も一緒に！

「みんなで一緒に食べるのが嬉しい！」そんな利用者からの声も食事の時間には聞こえてきます。

また、食べ終わった弁当箱は、利用者がパントリーのカウンターまで片付ける形になっています。

1月には新年会を行い、お弁当と合わせてケーキやジュースを用意しました。普段とはまた違った食事に利用者も大変喜ばれ、笑顔で新年をお祝いしました。行事の時は季節や内容に合わせた食事を考え、デザートや飲み物を工夫して、利用者が楽しみながら召し上がっていただける内容をご用意していきたいと思っています。

（木村　賢幸）

新年会の食事

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇一九年二月十三日発行（SSKP通巻第七〇九〇号）

岡本福祉作業ホーム

三つの取り組み

①【給食試食会】年2回ご家族向けに延べ21名が参加しました。「薄味でもおいしい」「次回も楽しみにしている」との温かいご意見は、給食業者さん共々、うれしく、仕事の励みになります。

②【食育について】年1回の栄養教室では食育DVDを鑑賞し、皆さんが大好きな「卵について」を学びました。卵クイズやマヨネーズとヨーグルトのカロリーの違いを食べ比べるクイズを行ないました。「味に変わりがないのであれば、低カロリーの食べ物も良い」などのご意見があり、わいわいと笑顔で、盛り上がりました。「来年も参加したい」と前向きなご意見が多数ありました。また、利用者朝の会では「今日の給食でお腹に良い食べ物」を利用者が発表し、「どの献立に入っている食材なのか?」と話題になり、昼食時の会話もはずみます。

みんな大好きラーメン

2018年度、栄養教室の様子

③【給食会議】年12回、全員参加を目標に行ないました。給食会議アンケートでは「来年度も全員が参加したい」が多く、給食会議が利用者にとって楽しい場所になっていることがわかりました。今後も支援職員と協力して有意義な会議にしてゆきます。

アンケートからも給食は「楽しみ」とのご意見が多数でした。その期待に応えられるように、これからも給食業者と協力して、皆さんがわくわくする楽しい給食を提供します。（栄養士　望月　暢子）

玉堤分場

給食を残さない玉堤分場

分場の利用者の皆さんは給食をとても楽しみにしていらっしゃいます。献立表をお渡しすると熱心に見て、デザートやパンの日、自分の好きなメニューをチェックし、変わった名前のメニューを見つけると「これはどんな料理？」と興味津々で質問していただけます。

人気のメニューは、定番の鶏の唐揚げやカレーうどん、ハンバーグ、デザートやパンなどです。今年度から献立を立てる栄養士さんが変わり、トルコライスのようなご当地メニューやソースチキンカツ丼といった新しく加わったメニューも好評でした。

トルコライス

そして、素晴らしいことは、どんなメニューも残さずきれいに召し上がる事です。好きな物はもちろん、召し上がる前は反応があまりよくない魚料理も、「緑がすごい！」と思わず感嘆?の声がもれる野菜も器に残ることは殆どありません。

また、栄養教室では、コロッケの見本にソースをかけて塩分量を確かめていただき、食と健康の意識を高める機会となっています。

今年も皆さんに興味をもっていただける楽しい給食の時間としていきたいと思います。

（栄養士　伊藤　美恵）

ソースはこれぐらい？

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇一九年二月十三日発行（ＳＳＫＰ通巻第七〇九〇号）

日の出エリア

日の出舎

日の出舎の給食

私の記憶によれば、機関誌いずみに給食の記事を寄稿するのは2回目です。1回目が何年前だったかまでは覚えていませんが、利用者の状況も変化し、それに合わせて給食提供の方針も変えてきました。食事の摂取に介助が必要な方も増えましたし、大きく変わったのは軟菜食やミキサー食を始めたことではないかと思います。食事の原点は生命の維持であることを念頭に置きつつ、しかし食べなければ栄養にはなりませんので、食事が楽しみと健康増進につながるよう、献立や食形態などの工夫を行っています。利用者との懇談会で要望を伺ったり、通常は二者択一の選択食を変えてみたり、イベント給食を実施したり、バースデーリクエストを取り入れるなどいろいろ行っており、鏡開きの日はお餅の味を選べるようにしました。また、献立表は各フロアに掲示し、通所者には個別に配布しています。更新されるのを楽しみにしている方もいてありがたい限りです。様々な工夫が実現できているのは給食委託業者LEOCさんの理解があってこそで、今後もタッグを組んで邁進したいと思います。

（栄養士　大河　美也子）

正月のお節料理

一番の人気メニューです

グループホームのぞみ

グループホームのぞみの食事

平日16時過ぎ、利用者が就労日の出舎の送迎車で帰宅する頃、グループホームのぞみでは元料理人の職員が作業する小気味よい包丁の音と、出汁をとる何とも言えないいい香りが表の通りまで漂います。

「今日ご飯何だっけ?」自然と利用者の口からそんな言葉がでます。

「今日本当は○○だったんだけど…○○さんは○○嫌いだから…代わりになるものを…今悩んでる…。」

入居者の6名それぞれの好き嫌いを理解し、体調や体形を把握している職員だからこそ、こんな時には毎回悩んでいる難問です。食材は専らネットスーパー。ネットで注文すると冷凍・冷蔵・常温に分けられた食材が届きます。もっと便利な方法などがあることも聞いていますし、食材が余ってしまったり、必要なものが揃わなかったりと大変なこともありますが、今はこれがのぞみスタイル。なんといっても臨機応変が効きます。

「どうせなら旨いと思える食事をできたてで」。職員のこんなこだわりでグループホームのぞみの食事が成り立っています。

（小林　正稔）

夕食のオムライス

写真撮影に少し緊張…

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇一九年二月十三日発行（ＳＳＫＰ通巻第七〇九〇号）

日の出エリア施設だより

グループホームのぞみだより

初詣に行ってきました

今年の初詣は、年明け2日にいつもの青梅市新町にある御嶽神社へ行ってきました。前日に去年のお守りを忘れないように持って行きましょうと話しながら行ったにも関わらず、6名全員忘れてしまいました…。

去年までは一般の参拝の方々と一緒に並んでお参りしていたのですが、今年は案内係のような方がいてくださり、優先的に参拝させていただくことができました。年明け早々ご配慮いただき今年一年は良い年になりそうな気がします。お守りを購入し、おみくじを引いてお正月気分を味わうとともに、屋台で好きなものを購入し腹ごしらえ。去年から楽しみにしていたケバブを頬張りながら満足感に浸っている利用者もいました。

念願のケバブ

今年も良いことがありますように

その後、利用者の希望で去年同様横田基地方面をドライブしながらあきる野市までもどり、近くのファミレスで昼食。これは利用者の情報で「あそこはいつも空いている」ということだったので寄らせていただきました。結果は予想通り。他のお店が混雑しているところ、すんなりと席に着くことができ、大変楽しい初詣となりました。

（小林　正稔）

日の出舎だより

小学生との交流授業

昨年の9月27日、日の出町社会福祉協議会からの提案により、福祉教育プログラムの一環として、平井小学校4年生の児童62名と利用者10名でアート作品を制作しました。

当日はお隣の特養栄光の杜様の屋根付き駐車場をお借りして、8グループに1～2名の利用者が入り、木片で何を作るかテーマを決め、絵の具で色塗りを開始しました。児童も利用者も最初は緊張しているようでしたが、互いに『○○さんはこれを塗ってもらって良いですか?』『これはこの色の方が良いかな?』等、段々と打ち解け、笑顔も多く見られるようになりました。

作品は一度学校に持ち帰り、後日組み立て持参してくれることになり、先日62名の児童が日の出舎に来舎し、作品の紹介と、歌とリコーダーを披露してくれました。利用者は大変喜び、中には涙する方もおられました。

今後もこうした交流を続けていけたらと思います。

（中村　竜太）

就労日の出舎だより

保育園からの注文

毎年、近隣の3か所の保育園から音楽会の記念品として使用する写真立ての注文を頂いています。その音楽会がなくなったとのことですが、それでも引き続き写真立ての注文を頂き大変ありがたく思っています。

これまで別の職員が担当していましたが、今回から私が担当となりました。打ち合わせもスムーズにできず、また発注していた材料が予定通り届かず、今回は山あり谷ありの写真立て製作でした。その写真立ても納期である1月上旬には全て納品することができました。毎年一緒に作業している利用者も色々な工程に携わり、活躍されました。今後もこのような地域とのつながりを大事に、作業活動を行っていきたいと思います。

（古川　真矢）

仕上げの金具つけ

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇一九年二月十三日発行（ＳＳＫＰ通巻第七〇九〇号）

世田谷エリア施設だより

泉の家だより

クリスマス音楽祭

今年も多くの皆様のご協力のもとクリスマス音楽祭を開催することができました。今回も砧南中学校吹奏楽部の皆さんが来て下さり、お互いに演奏を披露しました。利用者も様々な衣装を準備して通所して下さり、活動にて作成した装飾等も合わせクリスマスの雰囲気を出すことができました。

個々、衣装を準備して下さいました

泉の家は、利用者、職員、ボランティアが、ハンドベルで「聖しこの夜」を演奏しました。合唱の「星に願いを」は、日本語歌詞に加え、英語歌詞にも挑戦しました。日本語部分には腕を大きく動かす振り付けをし、かっこよく決めポーズでラストの演出をしました。

秋から練習に取り組みました

砧南中学校の皆さんも様々な楽器を使い、演奏して下さいました。演奏が終わった後、複数の生徒さんが「大きな音でしたが、利用者さん大丈夫でしたか?」と気を遣って下さったりと、地域の皆さんの温かさを感じました。

来年度も皆さん、今から楽しみにされています。

（奥田　昌規）

コイノニアかみきただより

いっちょうめパン

「もうお客さんが並んでる！」「パンが足りないかも！」

11月15日の開所式と平行して、いっちょうめパンがついにオープンしました。しかし、決して順調とは言えないバタバタとした幕開けとなりました。

一生懸命作ってます！！

オープン前から、パン研修や職員間で練習をしていたとはいえ、いざお客さんを目の前にしての営業となると上手く行かない事だらけでした。1日のパンの個数や、翌日の出庫準備、利用者の作業工程の振り分け、接客、パンの陳列・・・何もかも初めての経験で試行錯誤の毎日です。

毎日職員同士で改善点等の話し合いを行い、1か月過ぎたあたりから、ある程度の形を作ることができてきました。利用者も最初は声出しや、袋詰めが上手くいかないこともありましたが、日々の努力の成果が出て、今ではそれらも自信を持って笑顔で行っています。

最近では段々とパン屋さんらしくなってきました。常連のお客様も増えてきて、気さくに利用者と職員に話しかけて下さいます。こうして地域の方々と交流が持てることを非常に嬉しく思います。

笑顔で皆様のお出迎え

まだまだ始まったばかり。今後もいっちょうめパンから目が離せません！

（谷垣　幸延）

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇一九年二月十三日発行（ＳＳＫＰ通巻第七〇九〇号）

岡本福祉作業ホームだより

年納会

岡本福祉作業ホームでは、お世話になっている方々を招待し感謝を表す年納会を行っています。生活介護の利用者は演劇や音楽の表現活動を毎年行っています。

今年度の表現活動は新たな試みとして、利用者と共にアイディアを出し合い協力して進めました。

一つのグループは利用者がなりたいキャラクターや着たい服装をして仮装ファッション・ショーを行いました。入場曲に合わせて、ポージングを決める利用者、自身で考えたダンスを踊る利用者と大盛り上がりで、客席からは大きな拍手が鳴り止みませんでした。

ファッション・ショー開催

もう一つのグループでは何をするかの話し合いの中で「岡本ホームの歌を作りたい！」という要望があり、皆「挑戦したい！」と意見が合い、歌作りをしました。

クリスマス会でも歌いました

まず、歌詞を作るために皆と岡本への思いや、お世話になっている方々への気持ちをまとめました。どのような曲調にするかを話合い、職員が作曲し、完成しました。

タイトルは「岡本ハート」です。

利用者と職員が力を合わせて歌いました。これからもこの曲を大切に歌い続けたいと思います。

（真野　陽介）

玉堤分場だより

過ぎ去るものと新しいもの

このしばらくの間にも玉堤分場では色々な変化がありました。2018年が過ぎ去り、新しく2019年を迎えました。年末に長く一緒に過ごしたメンバーの移動があり、春には新しい出会いがあるかもしれません。

今まで当たり前に行っていた業務を見直して古いやり方を変えてみたり、新しくボランティアを募集して、お手伝いをしてくださる方が新たに2名も来られたりしています。

あけましておめでとうございます

「あの職員さん、新しい人だっけ?」「いえ、もう1年は経ちますよ」「え!?最近だと思ってた…」などと会話を交わした時、当たり前の変わらない毎日だと思っているけれど、本当は日々新しくされていることに気づきました。古いものは過ぎ去り、全てが新しくなるのです。今年は平成が過ぎ去り新元号を迎えます。利用者の皆様が今年も日々新しく元気と喜びをもって毎日を過ごせるように、玉堤分場も新しくなっていきたいと思います。

（北村　卓也）

新年初、体操です

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇一九年二月十三日発行（SSKP通巻第七〇九〇号）

第10回　成城音楽祭　チャリティコンサートのお知らせ

ヴァイオリン　原田幸一郎

ピアノ　小林五月

チェロ　毛利伯郎

演奏曲：●モーツァルト：ピアノ三重奏曲 ホ長調 K.542 ／●シューマン：幻想小曲集 作品 88
●ブラームス：ピアノ三重奏曲 第１番 ロ長調 作品 8
＊三重奏によるクラッシック演奏会です。皆様、お誘いあわせの上、是非ともお越しください。

日　時：2019年3月28日（木曜日）
開　演：18：00 ～（開場）17：30
場　所：成城ホール（東京都世田谷区成城6－2－1）電話03－3482－1313
　　入場無料／全席自由席（297名）
共　催：東京成城ロータリークラブ／社会福祉法人泉会／泉会後援会いずみ友の会
後　援：世田谷区
演奏者：小林五月（ピアノ）／原田幸一郎（ヴァイオリン）／毛利伯郎（チェロ）
問合せ：社会福祉法人　泉会　事務局　03－5429－6721

2019年３月～６月各事業所の予定表

行　事	販売会
３月８日（金）　玉川支援ねっと交流会（玉堤分場）	３月２日（土）　せたがや梅まつり（岡本）
３月27日（水）　お花見（泉の家）	３月12日（火）～15日（金）　JA東京アグリパーク販売会（就労日の出舎）
３月28日（木）　成城音楽祭（泉の家・岡本ホーム・玉堤分場・コイノニア）	３月中旬　砧地域ご近所フォーラム（泉の家）
４月1日（月）　入所式（泉の家）	３月23日（土）　さくらまつり&ありがとうフェスタ（岡本・玉堤分場）
５月　日帰り旅行（コイノニア）	４月　ヤ・エまつり（玉堤分場）
５月16日（木）～17日（金）　一泊旅行（岡本）	４月中旬　せたがや日赤のつどい（泉の家・玉堤分場）
５月23日（木）～24日（金）　一泊旅行（泉の家）	４月下旬　花みず木フェスティバル（泉の家）
５月24日（金）　日帰り旅行（玉堤分場）	５月中旬　緑化まつり（泉の家）
５月30日（木）31日（金）　一泊旅行（就労日の出舎）	５月中旬　せたがや環境フェスタ（泉の家）
６月20日（木）～21日（金）　一泊旅行（岡本）	
６月６日（木）～７日（金）　一泊旅行（泉の家）	

＊社会福祉法人　泉会＊

法人本部・泉の家　〒157-0076　世田谷区岡本2丁目33番23号
☎03(3417)3451(代)　FAX03(3417)3463
izumi@izumikai.jp

岡本福祉作業ホーム　〒157-0076　世田谷区岡本2丁目33番24号
☎03(3415)3366(代)　FAX03(3415)4976
okamoto@izumikai.jp

相談支援センターおかもと（岡本福祉作業ホーム内）　soudan-okamoto@izumikai.jp

玉堤分場　〒158-0087　世田谷区玉堤2丁目3番1号
☎03(5707)9431(代)　FAX03(5707)9433
tamatutumi@izumikai.jp

コイノニアかみきた・グループホームこいのにあ　〒156-0057　世田谷区上北沢1丁目32番14号
☎03(5316)2251　FAX03(5316)2252
koinonia@izumikai.jp

日の出舎・就労日の出舎・相談日の出舎　〒190-0182　西多摩郡日の出町平井3030番
☎042(597)1451(代)　FAX042(597)2205
info@hinodesha.org

グループホームのぞみ　〒197-0804　あきる野市秋川2-3-1
☎042(533)3608　FAX042(533)3609

編集後記

一年間の思い出を振り返りつつ、新年度への期待と不安を抱く日々が続いています。皆様の笑顔がより一層見られる一年になりますように。　コイノニアかみきた　木村

発行所　障害者団体定期刊行物協会　頒価五十円
〒157-0072
東京都世田谷区祖師谷3-1-17
ヴェルドゥーラ祖師谷102
編集人
社会福祉法人　泉会